

アグリ

ワーク

ポイント



果樹林産センター 鈴木大造

着花管理

5月は開花期です。本年の収量や品質、外観に大きく影響するので、園内をよく観察して着花量に応じた管理を行いましょ。う。

着花の多い樹

有葉花摘蕾を行い、来年の結果母枝を確保しましょ。う。目安として長さ5cm以上、または新葉5枚以上の有葉花を摘蕾しましょ。う。

着花の少ない樹

花と新梢が養分を奪い合い、生理落果が助長されま。す。着果させたい花の近くの新梢を芽かき、あるいは摘芯することで果実に分配される養分が増加し、生理落果が抑制されま。す。

葉面散布

着花の多い樹は、樹勢維持と回復を、着花の少ない樹は早期の緑化により生理落果軽減を目的に尿素500倍を開花期前から1次生理落果が始まる前までに3回程度散布しましょ。う。

病害虫防除

今月は、灰色カビ病や訪花昆虫の防除時期です。幼果にキズがつくと、果実肥大とともにキズも大きくな。り、外観を著しく損ねてしまいま。す。

灰色カビ病は、落弁期の降雨により花卉が幼果に付

着することで発病し、果実にキズがつきま。す。

訪花昆虫は、開花期に花粉や蜜を求めて飛来し、果実に細かいキズを付けま。す。自園をよく観察し、五分咲き期と落弁期に防除を行ってくだい。

- ・ 灰色カビ病 (五分咲き期)
 - フロンサイドSC 2500倍(30日ー1回)
 - 灰色カビ病 (落弁期)
 - ナリアWDG 2000倍(14日ー3回)
 - モスピランSL液剤 3000倍(14日ー3回)
- ・ 訪花昆虫